



会報

発行人
北九州市小倉北区
豎町1丁目6番8-101
KCC事務局
新川 信夫
TEL 561-8283
FAX 561-7373
E-mail info@kcc-group.net



『関門の 未来ささえて 夢つなぐ』

(株)太平設計 笠井春生氏 撮影

昨年、北九州市は市政60周年と言うことで、色々な記念行事が執り行われました。2月10日には、60周年記念式典が北九州芸術劇場で開催されました。式典終了後、引き続きリリー・フランキー氏と立山律子氏による軽妙なトークイベントが執り行われました。2月19日にはコロナ禍で中止されていた北九州マラソンが雨の中3年振り開催されました。わっしょい百万夏まつり等のお祭りや花火大会も無事に開催されました。11月には『平成中村座小倉城公演』が4年振りに行われました。12月13日から17日に掛けては初の北九州国際映画祭が開催され、一昨年旦過市場の火災で焼失した小倉昭和館の柿落としが行われました。

気象的には、昨年も記録的猛暑が発生すると同時に年末に十年に一度と言われる大寒波に襲われました。極端な気候が続いておりますが、2024年もゲリラ豪雨に代表される洪水に備える必要があるかと思えます。今年には建設事業と自動車運転業務に4月1日から働き方改革関連法が適用され、より一層意識改革や生産性の向上が求められます。そんな中、我々建設コンサルタントも北九州市が掲げる2050年カーボンニュートラルに向けてのグリーントランスフォーメーション(GX)に協力を惜しまず行わねばと思えます。技術力の向上は元よりですが、DX推進を行い『安全・安心なまちづくり』への更なる邁進が必要かと思えます。

最後に、皆様の益々のご活躍とご発展を祈念致しまして年頭のご挨拶と致します。



(一社)北九州市建設コンサルタント協会
会長 松尾 禎泰





北九州市長
武内 和久

新年おめでとうございます。

昨年は、2月に市長に就任した直後から、北九州市を「再起動」するべく、スタートダッシュから走り続けた1年となりました。

対外的な情報発信を強化するとともに、多くの企業へ積極的にトップセールスを行い、IT・半導体関連企業等の進出決定をはじめ、多くの企業と連携協定を締結しました。また、北九州空港滑走路3,000m化の着工、響灘沖の洋上風力発電所の着工など、巨大プロジェクトが大きな一歩を踏み出し、明るい兆しが見えてきました。

また、より大きな視野での都市の発展へ、北部九州エリアでの連携を強化すべく、福岡市長、下関市長とそれぞれ12年ぶりとなる「トップ会談」を実施。スタートアップ支援や観光、航空機の代替着陸など、様々な分野での取組がスタートしています。そして、昨年12月には第2子以



(二社)北九州市
建設コンサルタント協会
広報部会長 安部 義美

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は史上最も暑い年となり、産業革命前よりも世界の平均気温が1.4度上昇し、地球が沸騰したと進めています。

今年、2月に市販としては全国初となる「地球の歩き方北九州市版」が発行され、4月には北九州空港に新たな定期貨物便が就航するなど、賑わいや成長に向けた動きが加速してまいります。

北九州市の更なる発展と、その果実である暮らしの安全、心豊かな生活の実現に向け、北九州市のポテンシャルを磨き上げ、世界から憧れられるまちを目指してまいります。「動き出した、北九州市。」今年も、ワクワクする北九州市の未来をともに創ってまいります。

の社会全体の環境の変化に対し、業界の魅力向上や品質の維持・向上、新技術の開発等、多くの課題を抱えています。中小企業が多い地域コンサルタントにおいても、ICTやDXの導入・推進による生産性の向上は最優先事項となっております。受発注者協働による技術者の育成や報酬体系の充実等により、経営基盤の安定・強化に御支援いただければと思います。また、技術者の担い手不足に対しては、北九州市の就職情報公式サイト「しこまる。」での学生の地元就職促進やUターン応援プロジェクト等で、市内企業の人材確保に御支援いただいております。

辰年は、昭和39年の東京オリピックと東海道新幹線の開業、昭和63年の青函トンネルと瀬戸大橋の開通、東京ドーム開業、平成24年の東京スカイツリー開業等、大きなイベントが行われたり、大型建造物が完成したりと、大きな変化が多い年のようなようです。今年、天高く上る竜にあやかり、皆様が大きく成長できる年となるように願います。新年の挨拶とさせていただきます。

さて、今年の干支は「甲辰(きのえたつ)年」です。「甲」は十干の始まりで生命や物事の始まりを意味し、「辰」は草木が伸びて形が整い、活気にあふれている様子を表し、これからの成長を形作っていく年と期待できそうです。また、天高くのぼる竜に守られる辰年は、強運やお金に困らないといった言い伝えがあり、景気が良くなるとも言われています。

建設コンサルタント業界では、少子高齢化や自然災害の頻発、景気の低迷、社会的要請の多様化等



風力発電関連産業の総合拠点の形成に向けて

北九州市港湾空港局 エネルギー産業拠点化推進室

事業の目的

響灘地区の充実した港湾インフラや広大な産業用地に加え、ものづくり・環境都市として発展してきた強みを活かし、2011年より「グリーンエネルギーポートひびき事業」に取り組んでいる。本プロジェクトは、洋上風力発電をターゲットに「建設・積出」「製造産業」「物流」「O&M」の4つの拠点機能による、あらゆるサービスを提供する「総合拠点」の形成に向けた取組を展開するものである。

洋上風力発電は、風況・海況調査から、設計・製造、部材輸送、風車建設、そして稼働後のO&Mに至るまで産業の裾野が広い。本市では早くから欧州の基地港湾の視察をはじめ、風車メーカーやEPCI等とも意見交換を重ね、その機能や効果を学び、我が国及び東アジア地域における風力産業のサポートを行うため、必要となる4つの拠点機能を構築していく。

総合拠点化に必要な機能

(1) 積出・建設拠点機能
タワー等をブレイクアップ（事前組立）し、SEP船にて輸送するための拠点である。2020年に国交省が拡大する



総合拠点イメージ(響灘東地区)

(2) 製造産業拠点機能
これは基地港湾周辺に、部材



基礎(ジャケッット式) 於: 日鉄鋼構造(株)若松工場

メーカー等の製造業を集積させるものである。取組の一環として、ジャケッット式基礎については日鉄エンジニアリングが国内初のサプライチェーンを形成し、多くの地元企業が参入した。同社若松工場では、響灘洋上WF向けの25本の基礎を製造中である。

(3) 物流拠点機能

製造産業拠点で製造した関連部材を他のWFや工場に向けての搬出や、原料等を搬入するのが物流機能拠点である。

(4) O&M拠点機能

洋上風車を日本の厳しい気象条件下での安定的な運転は、発電事業者が重要視するところである。その運営に向け、MCC(指令センター)における監視業務や各種オペレーション指示、また、洋上風車へのアクセスは、CTV(アクセス船)による24時間体制の業務が必要となる。



MCC(写真提供: 北拓(株))

総合拠点化に向けた取組

本市では総合拠点化に向け、3つのフェーズにより事業を進めている。フェーズ1では、風車実証試験O&M拠点、研修施設を設置しました。次にフェーズ2では、響灘の港湾区域に洋上WF事業を誘致しました。この事業は改正港湾法による第一号案件で、公募により九電みらいエナジー(株)、電源開発(株)、北拓(株)、西部ガス(株)、(株)九電工の5社によるコンソーシアム(後、ひびきウインドエナジー(株)を設立)を選定しました。投資額約



響灘で作業中のSEP船 (写真提供: 五洋建設(株))

1,700億円、最大出力22万KWという9,600KWの風車25本からなる国内最大級の洋上WFになる。今年3月に着工、2025年度内の運転開始を目指している。フェーズ3では、基地港湾や作業船基地整備のほか、西日本エリアにおける基地港湾の顧客開拓やサプライチェーン形成と地元参入を進めている。

その先に向けて

「洋上風力産業ビジョン(第一次)」では、洋上風車による発電を2040年までに30〜45GWとする目標を掲げており、うち3割が西日本で見込まれている。本市では、この需要を取り込んでいくため、各自治体や発電事業者、メーカー等へ積極的な働きかけを行っている。加えて、2030年までの更なる展開をACTIIと称し、次世代型総合拠点の形成として、浮体式洋上風車、超大型風車への対応、風車リサイクル、O&Mの人材育成に取り組んでいく。

事務局だより



当協会会員(株)吾水総合コンサルタントが、他の事業所の模範となる特に優良な事業者として、市から感謝状を授与されました。

代表者交代

日興コンサルタント(株) 令和5年11月 前代表取締役西ひとみ氏の逝去にともない、翌12月 出西 修氏が新代表取締役に就任されました。

第23回 ボウリング大会

11月10日(金)門司シーサイドボウルにて32名の会員が参加して開催されました。

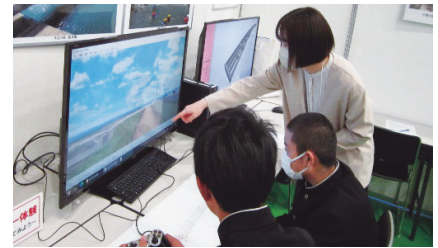
5月からコロナの感染症分類も第5類に変更され5年ぶりに開催されたボウリング大会で優勝できて本当に嬉しいです。初参加の張がストライクやスペアを出したときにハイタッチや「ナイスストライク!」などの掛け声のおかげで緊張が解け良いスコアが出せました。他のレーンの人達もとてもいい雰



囲気でプレーしてました。大会終了後会場を移して表彰式と懇親会がありました。個人戦で200点を出して優勝し、とても嬉しかったです。参加者・厚生委員の皆様、大変お世話になりました。とても楽しい大会でした。

ゆめみらいワーク

九和設計(株) 竹村 友佑 中高生を対象とした「北九州ゆめみらいワーク」に参加させて頂き「明日の北九州市を創る建設業」ブースへ出展しました。「下水道管調査ロボット」もぐりんこ」などを展示し、来場された多くの学生さん達に建設業の事を知って頂きました。今回私は初めて参加させ



「3K」が挙げられます。しかし建設業には「地図に残る仕事」という非常に大きな魅力があり、その中でも設計という仕事の「自分で設計したものが普段利用している道路に出る」という達成感は何ものにも代え難いので、その事を少しでも多くのお客様に達へ伝えられ、将来の職業選択肢に建設業という人が増えたら幸いです。

て頂き「もぐりんこ」の操作体験とその説明を担当しました。私が思った以上に学生さん達は建設業に興味を持っていて、熱心に説明を聴いたり積極的に展示物を体験したり

令和5年度 第3回 技術研修会

(公社)土木学会CPD認定 令和5年11月27日(月) 北九州市立男女共同参画セン



- ター「ムーブ」
- 『受講者』
- 北九州市1名 会員18名
- 賛助会員1名
- 第1部 斜面の落石防止対策工法 落石対策の考え方及び斜面防災資材の紹介
- 高エネルギー落石防護網工ハイアーネット
- 第2部 地山補強土工法 EPLURTパイル
- スーパードラグシム工法
- 第3部 可とう性もたれ壁式の箱型擁壁

令和5年度 第4回 技術研修会

(公社)土木学会CPD認定 令和5年11月29日(水) 北九州市立生涯学習総合センター



- 『受講者』会員15名
- 第1部 3Dスキャナーで計測した点群データ活用方法及び設計コンサルタントにおける活用事例
- 第2部 国におけるBIM/CIMの活用状況
- 第3部 BIM/CIMソフト TRENDCOREの手順説明と操作体験

編集後記

あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。さて、今冬は暖冬との予想がある中、12月初旬から厳しい寒さあり、温かい日ありの乱高下で、体調管理が難しい気候でしたが、良い年を迎えられましたでしょうか？

昨年は気候の世相に「地球沸騰化時代」とのショッキングワードが国連より発せられ、日本の夏(6月5、8月)では平均気温が1989年の統計開始以降、最も高くなり、暑さがそのまま(秋(9月5、11月)まで続き、突然冬へと移り変わった季節間の異変も感じられました。

国内外のニュースでは、明るい話題と深刻な影を落とす話題とが、繰り返して報道・拡散され、その明暗に触れた人々の心も乱高下があったと感じました。本年が乱高下なく、穏やかな良い年になります様お祈り申し上げます。

(株)福山コンサルタント 広瀬 雅史

